

# 富大施設命名権取得 県内の2社に感謝状

富山大の施設を対象にしたネーミングライツ(命名権)事業で、「コムテックス」(高岡市東中川町)と「富山電気ビルディング」(富山市校橋通り)が富山市の五福キャンパスで命名権を取得した。感謝状授与式が7日、富山市の五福キ

ャンパスであった。命名権は大学側が施設を整備する資金を継続的に確保し、企業側はイメージや認知度向上などのメリットがある。コムテックスが取得した共通教育棟A棟2階の講義室は「COMTEX講義室」、富山電気ビルデ



感謝状を贈った齋藤滋学長(中)と竹脇正貴社長(右)、山田尚成社長(左)富山市の富山大五福キャンパスで

イングが取得した経済学部玄関ホールは「電気ビルスクエア」の愛称で4月から利用されている。授与式で富山大の齋藤滋学長がコムテックスの竹脇正貴社長と富山電気ビルディングの山田尚成社長に感謝状を手渡し、「学生や留学生の活動が企業の支援で成り立っている」と感謝し

た。式後、内覧会があった。富山電気ビルディングはレストランなどが知られているが、売り上げの7割を占める商事部門をもっと知ってもらいたいという。山田社長は取材に「創立90周年の記念事業として地元に貢献したい」と話した。富大は2024年4月から命名権事業を始め、今回を含めて大学公募型で9社、事業者提案型で2社が取得した。適用期間はコムテックスが3年間、富山電気ビルディングが5年間。(坂本正範)



内覧会で披露された電気ビルスクエア。右は齋藤学長、富山市の富山大経済学部で

## ネーミングライツ 契約2社に感謝状

富山大

富山大は7日、新たにネーミングライツ(命名権)契約を結んだコムテックス(高岡市東中川町、竹脇正貴社長)と、富山電気ビルディング(富山市校橋通り、山田尚成社長)に感謝状を贈った。

同大は資金確保と産学連携の推進を目的に、県内企業に施設の命名権を付与し、今回で11社となる。い



感謝状を手にする(左から)山田社長、齋藤学長、竹脇社長。富山大五福キャンパス

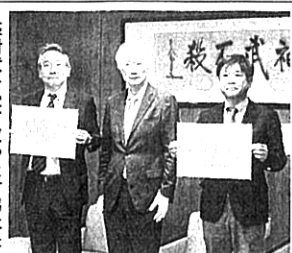
脇社長は「新入生がよく使う施設なので、不安な気持ちを明るい装飾で和らげたい」、山田社長は「ここの創業90周年を迎え、地域貢献の思いで契約した。学生へのPRにもつなげたい」と語った。

# 施設命名で感謝状

## 富大 コムテックス、電気ビルに

富大は7日、五福キャンパス内施設のネーミングライツ(命名権)を取得したコムテックス(高岡市)と富山電気ビルディング(富山市)の2社に感謝状を贈った。

共通教育棟A棟2階A22講義室を「COMTEX講義室」、経済学部玄関ホールを「電気ビルスクエア」と命名し、4月から運用を開始した。7日は感謝状授与式が行われ、齋藤滋学長がコムテックスの竹脇正貴社長と富山電気ビルディングの山田尚成社長に感謝状を手渡した。内覧会も開かれた。竹脇社長は「使う学生に明るい



感謝状を受け取った竹脇社長(右)と山田社長(左)富大五福キャンパス

気持ちになってほしい」と山田社長は「学びと交流の場になってほしい」と話した。